



親・教師・政府
教育課程
番号
氏名

リアクション(11月17日) 青年期(若者)の社会学

1 前回のリアクションを読んだ感想

皆あまり量は書いていませんでしたが、短めに分かりやすくまとめたありました。また色々な格差の例に気が付きました。

2 少し前(25年前)の子どもの特質な何か(武内「遊びと若者」参照)

毛糸を通じの遊びが少く、子どもたちの中がテレビゲームに出る言葉もある「マイン語」を使いこまないと、仲間うちで話が通じない。思いをするという特質。(何となく逆に見えかた)

3 過去の青年の特質は何か(武内「現代青年論の特質」参照)

★青年期は豊かたの産物 ★成人ではなく成人がある矛盾 ★生徒か学生という存在形態 ★消費費が価値 ★モラル・エム ★毛糸を通じの自己主張 ★高学歴化の進行 ★社会への関心の減退 ★世代対立の深刻化

4 1990年代の若者の特徴を、浜崎あゆみの歌詞から考える(藤原新也「名前のない花」参照)

自分が大木に育つという点に自覚を持っていない。個人か未来図を描くことができず。
→幼態成熟としての身体や文化がこの社会の中核を形作りつつある。

・現在、そして未来の姿にも重なり合う自傷的・二重構造を望んでいるからに思える。

5 2000年代の若者の特徴を、AKB48 指原莉乃から考える(藤原新也「5分後の世界」参照)

指原莉乃が教員間を顔が変わり、撮り取りの入りやぶを介して→センパイ-後継子はやはり何かか選考と、た=普通の子は後継子とある?

6 2000年代の若者の特徴を「さとり世代」と命名するのは適切か(「さとり世代」参照)。別の命名を付けるとすると、それは何?

「さとり世代」というのは「欲がない」、「恋愛に興味がない」、「旅行に行かない」などの事柄がある兄弟の子供、一世代前の「欲」、「恋愛」などのキーワードのバリエーションの反動か、あるいは「さとり世代」の逆か、あるいは「さとり世代」

「さとり世代」

教育課程 番号 氏名
リアクション(11月17日) 青年期(若者)の社会学

1 前回のリアクションを読んだ感想

親の経済力の格差は、オビエにも影響が与えてしまうと思ふ。

2 少し前(25年前)の子どもの特質な何か(武内「遊びと若者」参照)

受験を始めるに気が付く。階級格差に、今、新しい地位を構え、外で遊ぶことが少い。(ギョウバビバカ、下のため)

3 過去の青年の特質は何か(武内「現代青年論の特質」参照)

1990年代、青年を、他の社会領域、地域、職場、家族等と関係づけで考察しようとする傾向をもっていた。モラル・エム人間、カギル人間という社会的性格論が一般化し、潜在的、かつ無意識にその間に共有された、現代人の一般性・排他性・排他性が示された。

4 1990年代の若者の特徴を、浜崎あゆみの歌詞から考える(藤原新也「名前のない花」参照)

個人的な傾向がある。失恋歌でいっぱい。時代を巻き込む現象の曲が多い。

5 2000年代の若者の特徴を、AKB48 指原莉乃から考える(藤原新也「5分後の世界」参照)

群が時代の特徴。AKB48は、育成する人の時代の危機回避のシミュレーション。不況を抱える人々の育成(ババ)。育成する人の見ると思える。

6 2000年代の若者の特徴を「さとり世代」と命名するのは適切か(「さとり世代」参照)。別の命名を付けるとすると、それは何?

今世代は、携帯やパソコンで色々を調べたり、だから、自分は「さとり世代」と命名するのは適切か、あるいは、